様式2

公共事業事前評価調書（公共事業事前評価結果整理表）

主要目標番号	Ⅰ．Ⅰ－1．（1）
対象事業	道路・街路事業
主要目標	生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上

優先順位付けの考え方	対象地区・箇所名	個別事業の妥当性評価						事業間優先度の評価					事業間ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果
								貢献度ランクの評価			副次効果ランクの評価					
		公共関与、事業執行主体の妥当性	経済効率性	事業実施、規模の妥当性	整備手法の有効性	環境負荷への配慮	事業計画の熟度	貢献度ランク	混雑時走行速度 km/h	自動車交通量 台/12h	副次効果ランク	評点				
実走行速度が遅く、利用者の多い区間を優先する。	国道358号（万才橋東交差点外）	○	○	○	○	○	○	a	6.6	18,252	1	7	ＳⅠ	実施は妥当		実施
								基準値	30	3,340	基準値	7.0				

副次効果評価調書

主要目標番号	Ⅰ．Ⅰ－1．（1）	主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所で想定される副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標	生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上				
評価対象地区・箇所名	国道358号（万才橋東交差点外）				

主要目標項目	Ⅰ．県民生活の豊かさと経済の発展を支える基盤充実	Ⅰ－1．交通の利便性の向上	（1）生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上					
			（2）市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上					
			（3）市街地内の交通の円滑化					
			（4）集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上					
		Ⅰ－2．生活環境の向上	（1）森林機能の維持・向上					
			（2）憩い空間の創出					
			（3）生活排水処理機能の向上					
			（4）良好な市街地空間の確保	●				
			（5）適正な居住空間の確保					
			（6）歩行者等の通行空間の確保					
			（7）道路景観の向上					
		Ⅰ－3．農林水産業の振興	（1）中山間地域等の農村生活・生産機能の向上					
			（2）農業生産力の向上					
			（3）農業用排水能力の向上					
			（4）農林水産業経営の合理化（非公共）					
			（5）森林整備の効率化					
	Ⅱ．暮らしと経済活動の安全性確保	Ⅱ－1．交通の安全性の向上	（1）歩行者等の安全性の確保	●	○	主要目標「歩行者等の安全性の確保」の評価指標による貢献度ランクがb 歩行者・自転車交通量　534人台/12h（R3センサス）＞80人台/12h 自動車交通量　18,252台/12h(R3センサス)＞3,340台/12h 小中学校からの距離　0.8km（山城小学校）＞概ね1km 現況の歩道幅員　3.5m＞1.4m	1
			（2）災害に強い道路の確保	●	○	主要目標「災害に強い道路の確保」の評価指標による貢献度ランクがb 危険度・損傷度　－ 第一次緊急輸送道路の指定：あり 自動車交通量　18,252台/12h(R3センサス)＞3,340台/12h	1
			（3）都市災害防止					
			（4）交差点の安全性、円滑性の向上					
		Ⅱ－2．洪水・土砂被害の防止	（1）洪水被害の防止					
			（2）土石流被害の防止					
			（3）崖崩れ被害の防止					
			（4）地滑り被害の防止					
		Ⅱ－3．鳥獣被害の防止	（1）鳥獣被害の軽減					

副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化	●			
		アクセス機能の維持				
		主要渋滞ポイントの解消	●	○	主要渋滞箇所（万才橋東交差点）の解消もしくは大幅な改善	1
	生活環境	水質の浄化				
		大気汚染の軽減	●			
		騒音・振動の軽減	●			
		良好な景観の創出	●	○	電線の地中化	1
		バリアフリー化の促進	●	○	視覚障害者の誘導表示	1
		ライフラインの強化	●	○	電線、ガス管、上下水道、通信回線の統合整備	1
		身近な緑地・交流の場の提供	●			
		飲雑用水の安定供給				
		糞尿の処理				
		地域の文化・学習等活動の支援				
		各種情報の円滑な提供				
	自然環境	水源涵養機能の向上	●			
		生態系空間の再生				
	事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保	●			
		緊急時の避難・救助機能の確保	●	○	第一次緊急輸送道路（国道358号）	1
		被災時の被害波及の防止				
		既存施設の崩壊危険性の排除				
		走行安全性の確保	●			
	生産性	林業生産力の向上				
		遊休農地の解消				
		新たな公共用地の創出				
		農地の保全				
		農林産物の販売促進	●			
	その他	自然エネルギーの活用				
		リサイクルの推進				
		文化・歴史的資源等の保存・復元				
		他事業との一体施工	●			
		重要プロジェクトとしての位置づけ	●			
					副次効果評点合計	7

注1）「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に"●"が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所で想定される副次効果」の欄に"○"を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。

注2）副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合は1点とする。